



まちの“面白さ”を紐解け！ — M1 谷根千まち歩き —

Let's analyze your interest for the areas! —Fieldworks in Yanesen by M1 members

text_yamashita

6月14日(月)に行われる学部3年を対象とした谷根千(文京区谷中、根津、千駄木)まち歩きに向けて、M1全員で地区の資料作成や当日の案内をすることになり、それぞれが地区ごとの3つの班に分かれて事前のまち歩きなど地区読解を始めました。そこで今回はそれぞれの担当に、3つの地区のまち歩きの感想について語ってもらいました!

M1 members are now preparing for the fieldwork for B3 people in Yanesen:Ya(Yanaka)Ne(Nezu)Sen(Sendagi).Here are impressions of fieldworking three areas by them.



▲谷根千のエリア分け図

YANAKA

text_muramoto

春の陽気が夏の暑さに変わり始めた4月30日。村本、山重、李(峰)の三人で谷中に行ってきました。

経王寺の銃創痕や昭和レトロの谷中銀座、初音小路などに心を躍らせながら、谷中霊園で昼飯を食べ、次々に現れる寺社群と路地を行ったり来たりしながら、ひたすら歩き続けること4時間。角を曲がるたびに現れる新しい風景に、三人で「ここ調べると面白そう。」「なんでこんな風になってんの。」などと童心にかえて楽しむままあっという間に終わり、心地よい疲労と満足感に包まれながら帰ってきました。

MTGには永瀬さんも加わり、谷中を紐解く糸口についてレクチャーしていただきました。6月のまち歩きに向け、まちの持つ文脈とその面白さを伝え、後輩達が都市により興味を持つようなガイドをすべく、皆で力を合わせて頑張っていきたいです!



▲谷中 MTGの様子



▲夕焼け段々初体験の山重

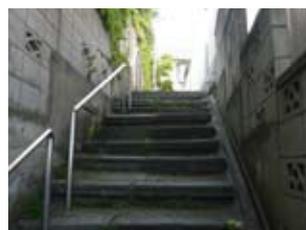
NEZU

text_maekawa

4月29日、地図を片手に芝尾、高見、前川の3人で根津の調査に行ってきました。

全員が根津初心者の私達は、「おもしろい道」を求めてひたすら歩きました。途中甘味を満喫しながら、意味深なカーブや様々な勾配の坂道、細く長い路地などを次々に体験し、気づけばあっという間に3時間が経過していました。もちろん道に溢れる植木鉢や人懐っこい猫、突如あらわれる個性的な店など、街を彩るたくさんの小道具達にもとても心惹かれ、根津は3人にとって再び個人的に訪れたいまちとなりました。

今後は別の日に根津を歩いた吉田を加えた4人のメンバーで、まち歩きで魅力的に感じた場所を中心に、江戸の町割りや根津神社、かつての遊郭などの歴史を紐解きながら根津のまちを読み解いていきたいと思います。



▲古そうな階段



▲豪邸を覗く矢吹

SENDAGI

text_yasukawa

千駄木ではへび道、よみせ通り、谷中銀座商店街などが有名ですが、歩いてみるとそれらとは不忍通りを挟んで反対の西側にも面白いところがたくさんありました。西側は本郷台地の際の部分で、崖線の緑が残っていたり、台地の上には邸宅地の名残が見られたり。また入り組む路地では魅力的な坂や階段、よくわからない形の街区や道に次々と出会い、歩いていてとても面白かったです。

そして古そうな階段の石に萌える矢吹と木のトンネルに覆われた地蔵に萌える西村。この2人と歩くことができ、1人では気づけないようなたくさんの面白さに気づけました。

まち歩き本番ではこのまちの面白さをより深く伝えられるよう、歴史・形成過程なども調べていきたいと思います。



▲異人坂



▲井戸と戯れる芝尾、高見

特別企画

GW 旅行記

Travel essays in the Golden Week holidays

GW は、家族で修善寺の新井旅館に行ってきました。新井旅館は明治5年創業の老舗で、川の水を引き込んだ庭園を中心として棟を増築し、平成10年に15棟が国の登録有形文化財になっています。

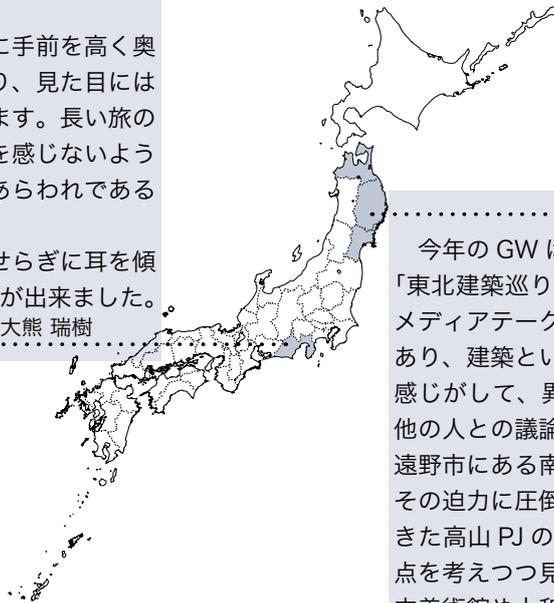
棟をつなぐ渡りの橋は、手すりの高さに手前を高く奥を低くする遠近法を取り入れたことにより、見た目には高低差を感じないような造りとなっています。長い旅の末にたどり着いた宿泊客に少しでも疲れを感じないようにしてもらいたいという大工の心遣いのあらわれであるといえます。

良質な建築の中で中庭の水の流れのせせらぎに耳を傾けながら、ゆっくりとした時を過ごすことが出来ました。

伊豆修善寺温泉..... M2 大熊 瑞樹



▲渡りの橋



▲十和田市現代美術館にて

..... 東北三県建築巡り M2 黒川 佑人

今年のGWは、新領域の学生（主に建築系）に混ざり、「東北建築巡り旅行」に行きました。仙台ではせんだいメディアテークを見たのですが、僕の地元ということもあり、建築というよりは懐かしさに包まれた空間という感じがして、異なった視点から建築を見ることができ、他の人との議論も楽しいものとなりました。また岩手県遠野市にある南部曲がり屋の千葉家住宅（国重文）では、その迫力に圧倒されながらも、昨年度一年間取り組んできた高山PJの農村集落の文化財が抱える問題との類似点を考えつつ見ることができました。その他にも青森県立美術館や十和田市現代美術館などの建築を建築学生と見ることができ、とても刺激的な旅行となりました。

プロジェクト報告

プロジェクト、続々本格化！

Projects are proceeding actively!

佐原 SAWARA-project プロジェクト

M1 吉田 健一郎



▲山車で賑わう佐原の町



▲ナツポンお疲れ&皆頑張ろう会

PJ 始動！新メンバーと佐原の魅力との出会い

今年度の新メンバーを加えた佐原PJが始動し、2回の現地訪問を行いました。初回はまち歩きや市やNPOの方々との話し合いなど有意義な時間を過ごした一方で、このPJのメインテーマである回遊性向上がいかに難しいかを実感しました。

2回目はまさかのM1+永瀬さんという新メンバーのみという不安の中での訪問でしたが、偶然にも佐原の大祭の名物、山車とお囃子に遭遇し、早速佐原の魅力に触れることができました。（人で溢れ返り調査どころではなくなったのですが…）

今後も観光と地域の生活を両立できる提案に向けて頑張りたいと思います。

神楽坂 KAGURAZAKA-project プロジェクト

M2 神原 康介



▲新宿区長も来訪



▲発表に臨む鈴木と神原

まちづくりキーワード第2集出版記念展

2010年3月に完成した「神楽坂キーワード第2集」の出版を記念して、4月22、23日に東京理科大学森戸記念館で記念展示会、23日午後6時からは寄稿された方々を招いてのフォーラムが催されました。我々東大神楽坂チームはD3鈴木とM2神原が「神楽坂らしさを追いかけて」と題したプレゼンテーションを行いました。当日は雨だったにも関わらず会場一杯に人が入りました。寄稿された方々のスピーチが大変個性的で、懐の深いこのまちはこのような人々によって日々磨かれ、育てられているのだと再確認した一日でした。

Information

5月の予定

- 5月14日 2010年度第2回研究室会議@8階会議室
- 5月14日 都市計画学会ポスターセッション@弥生講堂
- 5月20～25日 足助PJ第1回現地調査

✦ 編集後記

山下 航司

春が来た！と思ったのも束の間。夏と勘違いしそうな程暑く汗ばむ日もちらほら。聞く所によると今年のGW期間中の天候は全て晴れで、なんと50年ぶりの記録とか。研究室の人達もそれぞれ思い思いの場所で休暇を楽しんだことでしょう。ってなわけで今回はM2大熊君&黒川君にGW旅行記を書いてもらいました！僕自身も今週中くらいにどこか旅行したいなぁと画策中です。